

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

Y

国 語

(200点)
(80分)

注 意 事 項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
- 2 この問題冊子は、47 ページあります。問題は4問あり、第1問、第2問は「近代以降の文章」、第3問は「古文」、第4問は「漢文」の問題です。
なお、大学が指定する特定分野のみを解答する場合でも、試験時間は80分です。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解	答	欄
10	①	②	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第1問 次の【資料】は、【文章】を参考に作成しているレポートである。【文章】は平田オリザ『新しい広場をつくる』（二〇一三年）

の一部である。これらを読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。なお、設問の都合で【文章】の本文の段落に1～24の番号を付し、表記を一部改めている。(配点 50)

社会権的基本権(社会権)

社会権とは？

- 国民が人間らしく生きてゆくための権利
- 1919年ワイマール憲法で初めて保障された
- 国家による自由の保障

生存権的基本権 憲法第25条

第1項 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

第2項 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

教育権 憲法第26条

第1項 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

第2項 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。



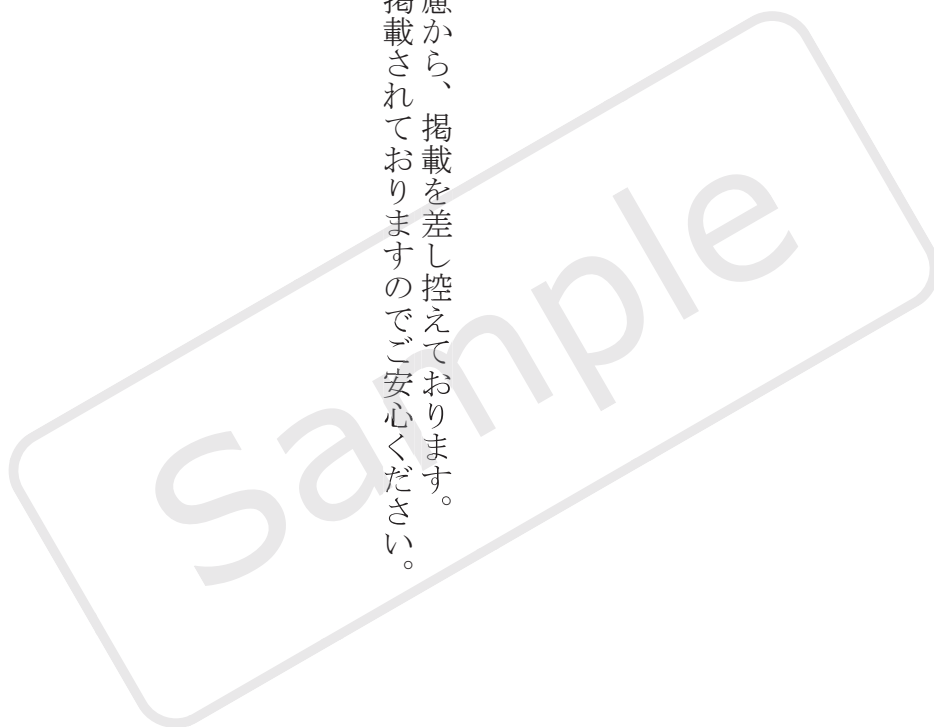
対立する概念になる場合がある。弱肉強食の社会になってしまうのでそれを是正するために社会権が規定された。

自由権的基本権(自由権)

自由権とは？

- 国民が国家に干渉されずに生きられる権利
- 1776年独立宣言(アメリカ)、1789年人権宣言(フランス)で初めて規定された
- 国家からの自由

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

（平田オリザ『新しい広場をつくる——市民芸術概論綱要』による）

（注）

- 1 無医村——定住する医者がいない村のこと。
- 2 ゼネスト——ゼネラルストライキの略。一つの産業、一つの地方、または全国にわたって、労働者が一斉に仕事を停止すること。
- 3 歴史の示すところ——ここでは、東北の飢饉^{ききん}が2・26事件が起きる一つの要因になったということ。

問1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

1
～
5。

(ア)

1
コクフク

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ⑤ ブロンズのチョウコク
 - ④ 身体をコクシする
 - ③ 所得をシンコクする
 - ② 細部までコクメイに描く
 - ① コクモツをたくわえる

(イ)

2
カンたる

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ⑤ 授業をサンカンする
 - ④ オウカンを賜る
 - ③ トツカン工事
 - ② チョウカンを読む
 - ① キュウカンを病院に搬送する

(ウ)

3
カンヨ

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ⑤ 銀行にヨキンする
 - ④ ヨカを過ごす
 - ③ 映画のヨコク
 - ② エイヨをたたえる
 - ① 賞状をジュヨする

(エ)

4
イジヨウ

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ⑤ 水がジヨウハツする
 - ④ こちらのジヨウケンを伝える
 - ③ ジヨウオンの飲み物
 - ② ジヨウダンを言う
 - ① ジヨウモン土器

(オ)

5
キヨウジュ

- ⑤ ④ ③ ② ①
- ⑤ キヨウゲンを鑑賞する
 - ④ キヨウラク的な生活
 - ③ 犯人にキヨウハクされる
 - ② マラソンのジツキヨウ中継
 - ① 情報をテイキヨウする

問2

傍線部「社会権的基本権に関する『公共性』という概念は、決して自明のものではなく、国や時代によって大きく異なる」と

あるが、現代において「公共性」が認められているものとして適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答

番号は

6

- ① バリアフリーにより駅に多機能トイレを設置する。
- ② ノーマライゼーションの理念によりブラインドサッカー大会を開催する。
- ③ 受動喫煙対策により病院に屋外の喫煙ブースを設置する。
- ④ 社会資本整備により大手百貨店が他店を吸収合併する。
- ⑤ 公衆衛生の観点によりインフルエンザの予防接種を実施する。

問3

【文章】における筆者の主張として最も適当なものを、表を参考に、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

7。

① 精神が不安定であったり、心に何かわだかまりがあるとき、失業して気持ちが悪くなり、心で沈んでいたりするときにこそ芸術が必要とされるのであり、失業して貧しいからといって、芸術文化の恩恵を受け、心を慰めることに地域間格差が生じるのは非常に遺憾である。この地域間格差を是正し、地方でも格安で演劇を見に行けるように、地方の演劇公演はチケット代を安くすべきである。

② 日本には健康保険制度という世界有数の公平な制度があり、二〇〇〇年には「世界保健報告」で総合ランキングの第一位に輝いた。このように「健康」に関しては日本社会は公共性を認め、「最低限度の生活」と言った際に「最先端」とも呼べる制度を公然と甘受するが、「文化」に関しては「高くても観に行く人がいるのだから、それでいいではないか」とその公共性を認めようとしない。

③ 憲法第二十五条・第二十六条で保障されている「健康」「文化」「生活」「教育」のうち、「健康」「生活」「教育」は私たち国民もその公共性を認め、地域間格差も是正されている。しかし、今の日本社会においては「文化」の「公共性」は認められていないと言えない現状にあり、我々は憲法の精神の下にその公共性を認め権利を主張する必要がある。

④ 「健康」「生活」「教育」もかつては地域間格差が認められたが、いずれも戦後、是正が図られ、現在ではその格差は埋められている。過疎の村や離島でも高い水準の教育は維持され、十数人の子供たちのために数億円の施設が作られても、それを税金の無駄遣いと言う人はいない。しかし、演劇は演劇愛好者のためのものと考えられ、高額な料金でその文化が提供され、それに対して疑問を持つものはいない。

⑤ かつて東北の農民たちは、冷害が起これば娘を売りに出さざるを得ないような悲惨な境遇にあった。しかし憲法第二十五条により「最低限度の生活」を保障されるようになり、現在の社会では社会不安が起ころうなことはなくなった。このように憲法第二十五条・第二十六条で制定されている社会権的基本権は、社会生活に伴い拡大するものであり、今後その保障はさらに拡大していく必要がある。

問 4 【文章】の構成に関する説明として適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 8。

- ① 第 1 ～ 4 段落では、芸術を国家が振興する必要性を根拠づける法律として、社会権の基本権(生存権の基本権)について述べ、その権利の特徴について具体例を挙げて説明している。
- ② 第 6 ～ 10 段落では、憲法第二十五条に述べられている「健康」について、世界保健機関(WHO)の報告や、地方での具体例を挙げて説明している。
- ③ 第 11 ～ 14 段落では、憲法第二十五条のなかの「最低限度の生活」について、雇用保険制度や生活保護法の整備により、地域間格差が解消され、先進国のなかでも優位に立ったことを述べている。
- ④ 第 15 段落では、憲法第二十六条に挙げられている「教育」について、地方における教育にかけられている金額を取り上げ、多くの人の教育への意識の高さを述べている。
- ⑤ 第 16 ～ 24 段落では、憲法第二十五条に挙げられている「文化」について、これまで説明してきた「健康」「生活」「教育」と比較しながら、現状について述べている。

問5 「文章」の表現に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

- ① 第1段落第二文「そこで私自身は」は、その後述べる主張が、一般的に普及している考え方ではなく、筆者独自の個人的な体験を元にした考えであることを強調している。
- ② 第1段落四行目「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」、六行目「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」は、条文を改行して示すことにより、これら二つの条文の違いを強調し、分かりやすく対比させる働きをもっている。
- ③ 第8段落第二文と第18段落最終文で用いられている「（ ）」は、今回の主張とは直接関係がないが、豆知識として読者に伝えておきたいことを述べるのに活用されており、それにより筆者の論に深みを与えている。
- ④ 第14段落第五文「小泉改革以降」、第22段落第五文「実際、オバマ政権が公的な医療保険制度改革に踏み切るまで」は、時事的な話題を入れることで、読者に親しみを感じさせる役割をもっている。
- ⑤ 第18段落第二文「いやいや、憲法は、最低限の文化的な水準を言っているのであって、地方の人が最先端の文化に触れることを保障しているわけでないだろう」、第20段落「芝居は高くても観に行く人がいるのだから、それでいいではないか」は、想定される意見を挙げて、それに反論することで、筆者の考えを分かりやすく主張する働きがある。

問6 【資料】の二重傍線部「最低限度の生活」として筆者の主張に当てはまるものを、次の①～⑥のうちから三つ選べ。ただ

し、解答の順序は問わない。解答番号は 10 ～ 12 。

- ① 県立病院で最先端の技術と施設を使って新しい手術を試みること。
- ② 保険への加入は強制ではなく個人の自由に任せること。
- ③ 企業で健康診断を受けること。
- ④ 所得に応じて子供が修学旅行や大学に行けること。
- ⑤ 七千円する演劇のチケットを購入して演劇を鑑賞すること。
- ⑥ 県立劇場で世界へ発信できる作品創作を行うこと。